



厚生労働省

下関労働基準監督署からのお知らせ

令和7年1月

業種別労働災害発生状況

○令和6年12月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和6年12月末現在

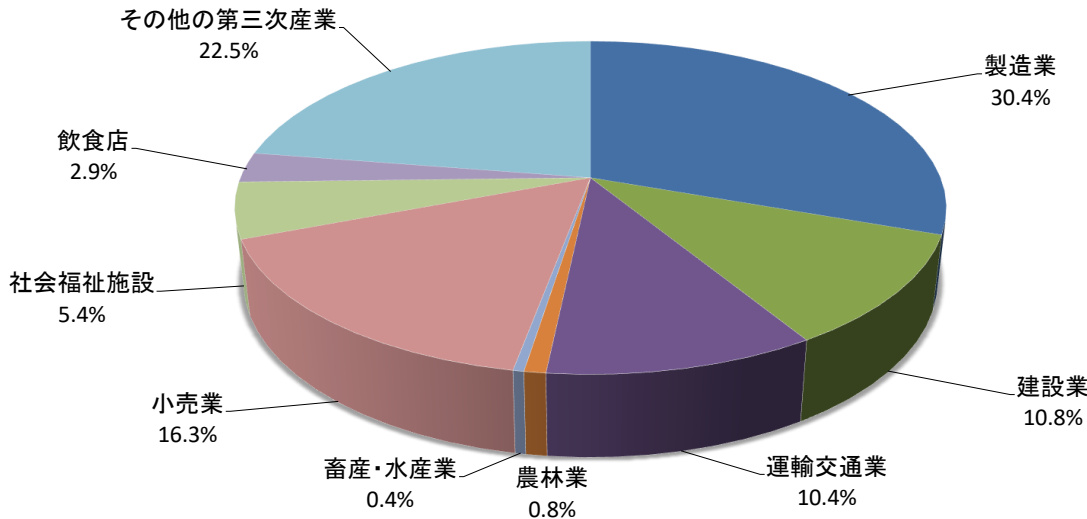
新型コロナウイルス感染症
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減	年数	増減率	うち転倒災害件数			
								死亡	休業災害	合計	構成比※
全産業	3 (1)	237	240	100.0%	-2		-0.8%	68	68	100.0%	28.3%
製造業	2	71	73	30.4%	±0		±0.0%	17	17	25.0%	23.3%
鉱業					±0		-				-
建設業	1	25	26	10.8%	+9		+52.9%	3	3	4.4%	11.5%
運輸交通業		25	25	10.4%	-5		-16.7%	5	5	7.4%	20.0%
貨物取扱業					-2		-100.0%				-
農林業		2	2	0.8%	-5		-71.4%				
畜産・水産業		1	1	0.4%	+1		+∞				
第三次産業	(1)	113	113	47.1%	±0		±0.0%	43	43	63.2%	38.1%
小売業		39	39	16.3%	+13		+50.0%	15	15	22.1%	38.5%
社会福祉施設	(1)	13	13	5.4%	-15		-53.6%	5	5	7.4%	38.5%
飲食店		7	7	2.9%	-3		-30.0%	3	3	4.4%	42.9%
その他の第三次産業		54	54	22.5%	+5		+10.2%	20	20	29.4%	37.0%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年12月末までに発生した労働災害は240人で、前年同期と比較して、2人減少しましたが、死亡災害は3人と前年同期と比較して2人増加しました。

製造業は、73人と前年同期と比較して増減ありませんでした。最も多い事故の型は「転倒」の17人で、前年同期と比較して4人増加しました。続いて多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の14人で、前年同期と比較して6人減少しました。

建設業は、26人と前年同期と比較して9人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の8人で、前年同期と比較して7人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の6人で、前年同期と比較して1人増加しました。

小売業は39人と前年同期と比較して13人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の15人で、前年同期と比較して8人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の7人で、前年同期と比較して2人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の68人で、前年同期と比較して18人増加しました。